



No. 401 令和6年3月28日

おおたこうれん

発行所
東京都大田区南蒲田1-20-20
電話(3737)0797・FAX(3737)0799
一般社団法人大田工業連合会
発行人 会長 広瀬安宏
E-mail: office@ootakoren.com
ホームページ: https://ootakoren.com
印刷所
東京都大田区大森西4-6-13
電話(3766)1711
株式会社 気生堂印刷所



テクニカルショウヨコハマ、青年部ブース



広瀬会長と泰信製作所の林田社長

業が多数出展したほか、区外の企業も多く出展。ブース展示を通じて企業同士の交流を深めた。特別講演は、チャネル登録者数12万人を誇る製造系YOUTUBER「なんとか重工」のケロ氏が講師を務めた。

松浦製作所は微細加工の技術力をアピール。松浦貴之社長は「コロナの間に動きが止まっていた大企業の担当者が、展示会に戻ってきている」と印象を述べた。エポゾールの吉田利樹社長は「今回は自社のPRというより、ディップ成型のPRのために出展した。来場者が多く、今度使っ

た。松浦製作所は、板金加工技術を活かした金属製の靴や三味線を展示。林田由加里社長は「午後から来場者が増えてきた。デザイン系の仕事を含め、何社か相談があった」と手応えを語った。

2024がパシフィコ横浜（横浜市西区）で2月7日から9日に開催され、大田工業連合会青年部連絡協議会の有志が共同出展した。（株）エポゾール、（株）極東精機製作所、（株）弘機商会、（株）泰信製作所、（株）富士テクノマシン、（株）松浦製作所、（株）渡辺精機の7社が出展。各社はブースに加工サンプルや製品を並べたほか、特徴をまとめた冊子を配布し、大田区のものづくりをPRした。

テクニカルショウヨコハマ

大田区産業振興協会で、後援が（一社）大田工業連合会、（二社）日本能率協会、同イベントは、「Meet」「Inspire」「Challenge」「Dream」「Support」をキーワードに、社会的課題の解決を目指す企業が一堂に会し、大田区から次世代の成功を目指す展示会だ。当会の会員企

業が多数出展したほか、区外の企業も多く出展。ブース展示を通じて企業同士の交流を深めた。特別講演は、チャネル登録者数12万人を誇る製造系YOUTUBER「なんとか重工」のケロ氏が講師を務めた。

最終日には当会の広瀬安宏会長も来場。各社のブースを回ったあと「各社の技術や製品をうまく紹介し、販売に結びつけてもらえたら」と語った。また、2024年2月9日には、大田区産業プラザPIOでMeet New Solution in OTAが開催された。主催は大田区、（公財）大田区産業振興協会で、後援が（一社）大田工業連合会、（二社）日本能率協会、同イベントは、「Meet」「Inspire」「Challenge」「Dream」「Support」をキーワードに、社会的課題の解決を目指す企業が一堂に会し、大田区から次世代の成功を目指す展示会だ。当会の会員企

てみたい」という前向きな評価が多かった」と語った。



Meet New Solution in OTA 会場風景

千葉市からやってきたのは小型ドローンベンチャー（株）Libedraware（リベラウェア）。同社のドローンは能登半島地震の調査にも使われたという。同じく千葉市からやってきた（株）Vannes（ヴァンウェイブス）は、電気式の家庭用小型サウナを展示。試作で協力した（有）安久工機の近くに出展し、ベンチャーに協力する大田区のものづくりを象徴した。

ムソー工業（株）の尾針徹治社長は「今回はブースにデザイナーが多く来訪したのが印象的だった。工業だけでなく幅広い業種の来場者が訪れている」とイベントの印象を語った。

展示会の中では、優れた工場を表彰する「大田区優工場」と「大田区新製品・新技術コンクール」の合同表彰式も行われた。手塩にかけた製品や技術を、あるいは製造現場を評価され、受賞者の顔には満面の笑みが浮かんでいた。

【大田区優工場 新製品・新技術コンクール】表彰事業で受賞された企業をご紹介します。受賞企業の皆様、おめでとうございます。

令和5年度 大田区優工場 受賞企業	
《総合部門賞》兼 《まちに優しい部門賞》	・アベテクノシステム株式会社
《総合部門賞》兼 《人に優しい部門賞》	・株式会社 マテリアル
《総合部門賞》	・株式会社 北嶋絞製作所 ・株式会社 西尾硝子鏡工業所
《認定工場》	・株式会社 岩崎成型 ・株式会社 クライム・ワークス ・株式会社 城南キー ・富士セイラ 株式会社 ・株式会社 前川試験機製作所

第35回 大田区中小企業 新製品・新技術コンクール 入賞製品・技術	
《最優秀賞》	・ホルター心電図検査 e-skin ECG（株式会社 Xenoma）
《優秀賞》	・「EdgeOCR」現場業務を効率化する ハイスピード・高精度 OCR（株式会社 ネフロック） ・掘削状況 3D 管理アプリ ちかデジ（旧称：しくつ君）（ジオ・サーチ 株式会社）
《奨励賞》	・直流地絡電流 検出継電器（予兆形）（永楽電気 株式会社） ・汎用 ROV（水中ドローン）「龍頭」（株式会社 水龍堂）
《OTA サステナブル賞（奨励賞）》	・HASHIBA 電子クーラー “CooLing-Ace”（株式会社 フルハート・ジャパン）
《OTA TECH 賞（奨励賞）》	・Raport（株式会社 マテリアル）
《OTA 研究開発賞（奨励賞）》	・LED 照明器具の新たな給電 制御方式 交互直流給電システム（トキ・コーポレーション 株式会社）
《OTA エコトラベル賞（奨励賞）》	・旅先専用洗剤 Lucy Mist（株式会社 ハッシュ）

《新春講演会・賀詞交歓会》

大田区の中小企業、笑顔で交流

株式会社ダイモン 中島紳一郎社長が講演



三団体賀詞交歓会風景

中島氏は、自動車部品のボッシュなどで働き、アウディやトヨタ自動車で作っている4WD駆動機構を発明したエンジニアだ。ダイモンを設立するきっかけとなったのが、2011年の東日本大震災。同年3月11日、大田区産業プラザで開かれていた中小企業の技術見本市に会場した中島氏は、もの凄い揺れに襲わ

2024年新春、大田工業連合会が関連する賀詞交歓会が相次ぎ開かれた。1月12日には当会、東京商工会議所大田支部、大田区商店街連合会3団体による新年賀詞交歓会が開催された。同イベントは、コロナへの配慮で昨年は懇親会は中止だったが、今年は開催され完全復活となった。17日には当会に所属する4団体の合同新春講演会・賀詞交歓会が開催。多くの会員企業が集まり交流を楽しんだ。

1月12日、17時から大田区産業プラザP104階コンベンションホールで開かれた賀詞交歓会には、来賓として鈴木晶雅大田区長、押見隆太大田区議会議長のほか、衆議院議員の平将明氏、松原仁氏、参議院議員の柳ヶ瀬裕文氏らが参加した。開会にあたり大田区商店街連合会の北見公秀会長が挨拶。「今年は辰年で、昇り龍のごとく経済が活性化するとされている。能登半島地震や羽田の飛行機事故など大変なスタートになったが、振り返って良い年だと言えるようにしていきたい」と述べた。

1月17日には、当会所属の四団体の親会・青年部（蒲田工業協会・経営研究会、大森工場協会・YMクラブ、工和会協同組合・工和成年会、蒲田工業協同組合・木鶏会）による新春講演会および新春賀詞交歓会が執り行われた。会場はこちらもP104階コンベンションホール。講演者は、宇宙ベンチャー、(株)ダイモンの中島紳一郎CEO（最高経営責任者）兼CTO（最高技術責任者）。「まち工場から未来を切り拓く情熱を、月面探査車YAOOKIで挑む、人類の新たな未来」と題し、講演した。

「YAOOKI（ヤオキ）」はダイモンが開発した超小型の月面探査車だ。本体の左右にタイヤが付いたラグビーボールのような形状。重量は500グラムと小形軽量だが堅牢だ。ワンタッチで月面に着陸し、超ローアングルで地表を撮影できる。複数機を連携させて洞窟探検も可能で、月面の資源探査に使われることを想定している。転がりながらもミッションをこなす姿から「七転び八起き」をイメージし、その名が付けられた。

中島氏は、世界的な宇宙開発の潮流について「中国が頭一つ抜け、米国も精力的に取り組んでいる。日本も遅れを取ってはならない」と語った。YAOOKIの開発目標として、「2024年春に地球からの数時間におよぶ遠隔操作を実現。25年には無線充電を使い月面で半日間の活動、26年には月のシェルターで長期活動、27年には複数台による探査で月面のマッピングをしたい」と展望を述べた。

講演会の後は懇親会が開かれた。参加者は美酒と美食を味わいつつ、仲間たちとの会話を楽しんだ。当会の広瀬安宏会長は「今年も自主独立を大事に、団体が何をしてくれるのかではなく、我々が何をできるのか考えて活動していきたい」とあいさつした。鈴木区長は「大田区は空港を持つ東京23区唯一の区。強みを活かし、大田区を強くしていきたい」と新年の抱負を語った。



講演する中島氏

警視庁からのお知らせ

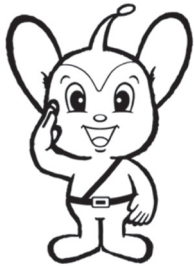
技術流出の防止に向けて

我が国は、先端技術を保有する企業等が多数存在します。これらの技術には、軍事転用が可能なものもあり、その情報が国外に流出した場合、企業等の国際競争力が低下するだけでなく、我が国の安全保障上も重大な影響が生じかねません。

いまや、技術流出の防止は、経済安全保障上の重要な課題となっているのです。警察では、この課題への取組として、企業等における技術流出の防止を支援するため、具体的な手口やその対策等に関して情報提供する活動（アウトリーチ活動）を推進しています。

技術流出に関して、お悩みやお困り事のほか、不審点等お気づきのことがあれば、些細なことでもご遠慮なく警察にご相談ください。

【お問合せ】
警視庁 外事第一課（経済安保PT）
＜電話番号＞ 03-3581-4321（代表）
＜E-mail＞ keizaianpo@keishicho.tokyo.jp
警視庁 蒲田警察署
＜電話番号＞ 03-3731-0110（代表）



人権研修を支援します

「人権」とは、すべての人が生まれながらにもつ幸せに生きるための権利です。企業活動においても最大限尊重する必要があります。

しかし、就職差別や職場内でのハラスメントをはじめとする企業内での人権侵害は未だ起きています。問題を防ぎ企業としての責任を果たすためには、社員一人ひとりの人権意識を高めることが大切です。

区では、人権啓発冊子の配布や、企業における人権問題を取り上げたDVDの貸し出し等を通じ、人権研修を支援します。お気軽にお申し出ください。

大田区総務部人権・男女平等推進課
電話 5744-1148
FAX 5744-1556

人に教えなくなる数字の話題PART2

個人や会社の「お得ネタ」紹介

大田工業連合会は2月2日、大田区産業プラザP i O 2階東京都研修室で「人に教えたくない数字の話題 PART2」と題した対話形式の勉強会を開催した。10名が参加。2023年にインボイス制度について解説した会計セミナーの続編であり、講師も引き続きエヌケーパートナー税理士事務所、エヌケーブレインコンサルティング（株）取締役の長谷川俊彦氏と、同じく税理士・公認会計士である飯田明氏が務めた。個人や会社の節税につながる、「お得ネタ」を多数紹介した。

前半のテーマは、個人のお得

ネタ。収入から経費を引くと所得に、所得から配偶者控除など所得控除をして課税所得になり、課税所得に税率をかけて所得税額が決定する。そして所得税額から住宅ローン控除など税額控除をして実際に納める税額が決定する、という納税の流れを説明。

この最後の段階にある税額控除にあたり、節税効果が大きい取り組みとして「ふるさと納税」を紹介した。ふるさと納税は、自分が住んでいるところとは別の自治体に寄付をすることで、実質負担金2000円を引いた額が所得税額から控除される。寄付を受けた自治体は、寄付額の3割を上限としたお礼の品（返礼品）を贈るため、ふるさと納税をした人は、実質負担2000円で寄付額の3割相当のお礼を受け取ることができる仕組みだ。



中小企業の節税方法を説く長谷川先生

いて長谷川先生は「生命保険の一時金などで50万円を超える一時所得があると、一時所得の特別控除（最高50万円）を超えてしまうため、ふるさと納税の返戻品が一時所得とみなされ追徴課税されるケースもある」と説明。実

際には、ふるさと納税の返戻品の価格をどう算出するかなど難しい判断もあるが、生命保険の一時金や損害保険の満期返戻金がある時期は、ふるさと納税は慎重になった方が良くかもしれない。

次に紹介するのはiDeCo（個人型確定拠出年金）とNISA（少額投資非課税制度）だ。iDeCoは毎月定額の掛け金を支払い、60歳を超えると受け取れる個人年金制度だ。投資利益への税金が非課税なほか、掛け金は全額所得控除となる。NISAは積み立て投資で年間120万円、通常の投資で年間240万円までの株や投資信託の売買益、配当益が非課税となる制度。「どちらも元本が変動するリスクはあるが、税額控除や利益の非課税で資産運用に伴うリスクを低減している」と説明した。

後半は企業の「お得」ネタ。決算直前に古い在庫や固定資産を処分して税金を圧縮する方法や、決算賞与や社員旅行など社員への還元を増やすことで、納税額を減らしつつ社員のモチベーションを上げる方法などを紹介した。

納税は国民の義務だが、中小企業経営者は賢く節税し、自分の会社と社員の生活を守らなければならぬ。長谷川先生の講義は実用的で楽しく、一時間半の講義時間はあっという間に過ぎていった。

サイバーセキュリティコラム

〈〈〈2024年に注意すべき情報セキュリティ脅威〉〉〉

経済産業省の外郭団体である情報処理推進機構（IPA）から、毎年1月に「情報セキュリティ10大脅威」が発表されています。これは、その年に特に注意すべきサイバー脅威をまとめたものです。2024年も公開されておりまして、1位と2位について紹介します。

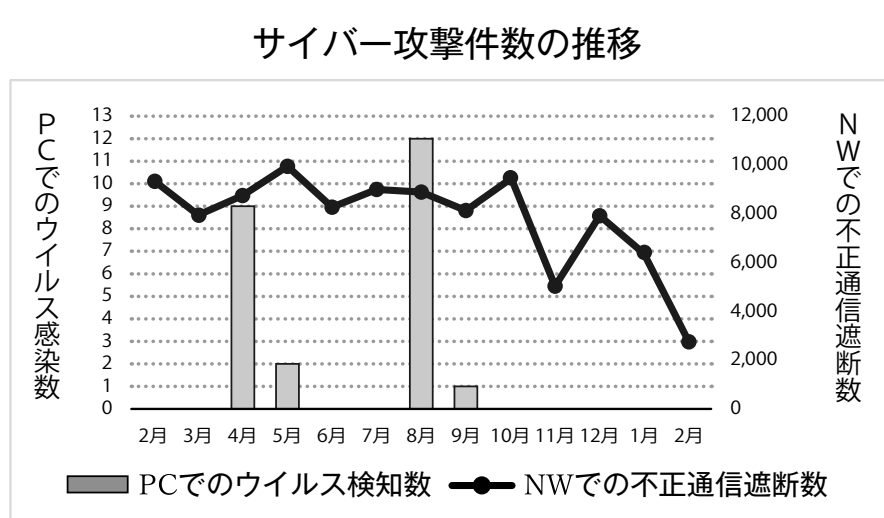
▼1位 ランサムウェアによる攻撃

1位は「ランサムウェアによる攻撃」です。ウィルスの一種であるランサムウェアに感染すると、パソコンを正常に利用できなく

▼2位 サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃

なるばかりか、ネットワークを介して他のシステムも破壊し、「元に戻したければお金を払え」と脅迫する非常に悪質な被害が発生します。7月に発生した名古屋港が3日間操業停止になった事件もランサムウェアによるものです。企業の業務継続に多大な影響を与えます。

2位の「サプライチェーンの弱点を悪用した攻撃」は、セキュリティが強化された企業ではなく、その大企業と取引をしており、セ



キュリティ対策が不十分な中小企業を狙って不正侵入を仕掛ける攻撃手法です。侵入に成功すると、その中小企業を足掛かりに目的となる大企業に侵入し重要情報を盗み出す、業務停止に追い込むといった被害を与えます。足掛かりにされた中小企業からすると、サイバー攻撃の被害が自社にとどまらず、他社（特に重要なお客様）に被害を与えてしまうこともあり、その後の取引にも影響を与えかねない重大な影響を及ぼします。

今回、紹介した1位と2位のサイバー攻撃を受けた場合の被害は甚大ですが、Windows月例パッチ適用や、定期的なバックアップといった基本的なセキュリティ対策を行うことで、リスクの低減を行うことが可能です。また、セキュリティ事故にいち早く気づくための監視・通報サービスもありますので、必要に応じて検討ください。

参考）IPA 情報セキュリティ10大脅威2024
<https://www.ipa.go.jp/security/10threats/10threats.html>

▼当会会員企業におけるサイバー攻撃状況

会員企業約30社で利用しているセキュリティサービスの検知状況をご報告いたします。

1年以上高止まりしていたサイバー攻撃数は、2023年末から減少傾向に転じております。2年前の2022年1月も同様にサイバー攻撃が落ちていた時期がありました。2022年9月頃から急激にサイバー攻撃が増加しておりました。急なサイバー攻撃によりウイルス感染しないためにも、日頃からのセキュリティ意識を高め、社内への対策・周知徹底をお願いいたします。

なお、大田工連では、2024年度セキュリティ推進活動を予定しております。現状の対策状況の確認のほか、セキュリティサービスを無償でお試しいただくことにより、自社に迫る脅威を可視化し、今後の対策検討の一助にもなりますので、ご検討ください。詳細は、当会事務局までお問合せください。

事務局から

第17回



5年前、「ワンストップ西川」を目指して大田工業連合会の事務局長に就任しました。

早いもので、この3月末で定年退職となります。

皆様からの相談事やご要望等々、出来る限り引き受けて様々な部署に繋いで参りましたが、行き届かなかった点多々あり、逆に助けていただき、会員及び関係者の皆さまには、この場を借りてお詫びと感謝を申し上げます。

5年の内の3年間は、コロナ禍のため活動に制限があったものの子ども達の事業を継続して実施できたことは、今思えば奇跡のようで大きな励みとなりました。

そして、工連といえば青年部のTHE PARTYですね。就任1年目は、パーティー実行委員会の皆さんと準備を進めてきたにもかかわらず、中止となった幻のTHE PARTYが5年振りに実施できました。

改めて町工場バンドの皆さまの多才さとイベントを成功へと導いた会員皆さまのエネルギーに圧倒されました。

私の後任には、輪をかけてものづくりを愛する事務局長がまいりますのでご期待ください。

最後になりますが会員企業皆様の事業の発展と、「ものづくりのまち大田区」の更なる前進を心からお祈り申し上げます。ありがとうございました。

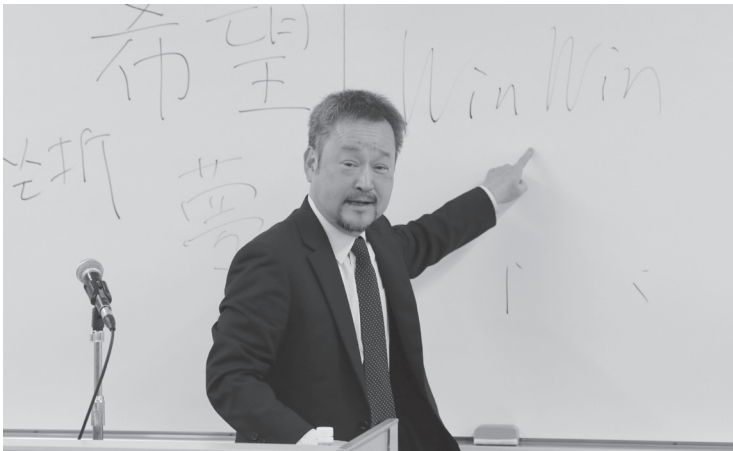
西川恭子

経営マネジメントセミナー

「希望のつくり方」

東京大学社会科学研究所 玄田有史教授が講演

大田工業連合会と大田工業連合会青年部連絡協議会は、2024年3月6日18時から大田区産業プラザPiO6階会議室で、経営マネジメントセミナーを開催した。講師は東京大学社会科学研究所の玄田有史教授。玄田先生は希望の正体、希望と社会との関わり方について研究した「希望学（希望の社会科学）」の第一人者。「希望学」（中公新書ラクレ）「希望のつくり方」（岩波新書）など複数の著作を持つ。今回の講演タイトルも「希望のつくり方」。32名が聴講した。



講演する玄田先生

玄田先生の講演は不思議だ。配布資料は使わず、ホワイトボードにキーワードを書き込み、それに沿って話を展開。その話は途中で別方向に逸れ、軽妙なボヤキで会場に笑いを起こし、いつの間にか本筋に戻る。時折、印象的なフレーズを聴講者に投げかける。講演を聴いているというより、面白い塾の授業、あるいは漫談を聞いている気持ちになる。

「集団就職時代。ソニーの新入女子行員が、示し合わせたように同じモノを持って入社してきました。何だか分かりますか」答えは新しい上履き。職場で靴が汚いと恥ずかしい、と考え、親が持たせたという。

「東日本大震災後に東北に行った時、被災地にあるモノを持って行ったらとても喜ばれました。それは何でしょうか」答えは卓上カレンダー。避難所では日時の感覚が薄くなるため、

喜ばれたという。

クイズ番組のようなやりとりの後、ある歌手の言葉として「絶望の反対はユーモア」というフレーズを紹介。第二次大戦下、ナチスドイツのアウシュビッツ収容所に収容された心理学者ヴィクトール・E・フランクルの「希望を忘れたかった囚人は生き延びた」話も重ね合わせる。ちなみにドイツのことわざには「ユーモアとは『にもかかわらず笑うこと』』」と言うのがあるそう。

人生において壁を越えようとしても、どうしても乗り越えられないことがある。「そんな時は壁の前でウロウロすれば良い」と玄田先生。

「ウロウロしているうちにヘリコプターが来て、勝手に壁の向こうに連れて行ってくれることもある」ウロウロし続ける＝迷い挑戦し続ける、その原動力と行動自身が希望なのかもしれない。

大田工業連合会 2024年度スケジュール

- 4月

■実践汎用旋盤・フライス盤講座(1回目)

4月13日(土)、20日(土)、27日(土)(毎土曜日3日間) 9:15~16:30
- 5月

■新入社員セミナー

5月15日(水)、16日(木)、17日(金)(平日3日間) 9:30~16:30

■NCプログラミング初級講座

5月11日(土)、18日(土)、25日(土)(毎土曜日3日間)9:15~16:30

●理事会 5月下旬開催予定
- 6月

■CAD製図初級講座(Auto CAD2024)(1回目)

6月1日(土)、8日(土)、15日(土)(毎土曜日3日間) 9:15~16:30

●大田工連定時総会 6月7日(金)
- 8月

■第1回 産業のまち発見隊「親子工場見学会」7月26日(金)9:30~16:30

■第2回 産業のまち発見隊「親子工場見学会」8月中開催予定

■夏休み親子ロボット作り教室 8月24日(土)、25日(日)(2日間) 9:30~16:30
- 9月

■やさしい図面の見方講座(城南職業能力開発センター大田校開催)

9月21日(土)、28日(土)(毎土曜日2日間)9:15~16:30
- 10月

■CAD製図初級講座(Auto CAD 2024)(2回目)

10月12日(土)、19日(土)、26日(土)(毎土曜日3日間)9:15~16:30
- 秋のロボットセミナー 10月中開催予定

●理事会 10月中開催

●優良従業員表彰10月1日
- 11月

■実践汎用旋盤・フライス盤講座(2回目)

11月2日(土)、11月9日(土)、16日(土)(毎土曜日3日間)9:15~16:30

■ロボットプログラミング教室 11月中開催予定

■新入社員セミナーフォローアップ研修 11月15日(金) 13:00~17:00
- 2025年

1月

■3団体(※)賀詞交歓会 1月10日(金) 開催

(※)東京商工会議所大田支部・大田区商店街連合会・大田工業連合会
- 2月

■やさしい図面の見方講座(2回目)(全5日間)2月中開催予定(日本工学院での開催)

■経営者育成セミナー 2月中開催予定
- 3月

■やさしい図面の見方講座 (3回目)(平日1日間) 3月中開催予定

■第24回 THE PATY 2025 町工場のバンドが集結! 3月中開催予定

※その他セミナーについては、日程が決まり次第ご案内させていただきます。